

令和2年6月5日

国際ロータリー第2650地区

新型コロナウイルス対応のための

地区行事の開催の基本的な考え方について (Ver.2)

ガバナーエレクト 松原 六郎
幹事長予定者 梅田 真

新型コロナウイルス感染はようやく収束の方向に向かい始めており、国の緊急事態宣言の終了が5月25日に宣言されましたが、ウイルスとの戦いは始まったばかりで、引き続き新生活様式の遵守が求められています。

3要件（①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近での会話が発生する密接場所＝三密）が揃う環境を避けて、地区行事を開催するという基本方針は一切変わりません。

依然として感染拡大が続く地域（首都圏、北海道、福岡県）との人の往来は自粛要請が出されている状況です。

つきましては、今後の地区内行事の開催にあたりまして、以下の点に留意しつつ、開催方法、開催の可否並びに延期の判断等を行っていただきますようお願い申し上げます。

開催する場合の実務的な留意点は別紙「地区が関与するイベント・行事の開催指針 (Ver.2)」のご確認をお願いします。

今後の感染の再拡大の可能性、非常事態宣言の再発令、都市間の移動制限、会場の使用制限等が発生した場合には、改めて指針の見直しを行う可能性がありますことを予めご了承くださいませ。様重ねてお願い申し上げます。

なお、このご案内はあくまで地区行事に関するものであり、各クラブの例会運営は各クラブのご判断によるものと理解しておりますので、念のため申し添えます。

1. 地区内行事の開催要件

今後の感染再拡大の予防のために以下のおりの方針とします。

(1) 開催場所の収容人員（定員）による要件

今回の指針に当たっては、開催人員(規模)での制約は行わないこととします。

① 会場定員の50%以下の人数

⇒ 会場の収容人員に対して集める人の数を50%以下に抑制すること。

すなわち、100名規模の会議を行う場合には200名以上の収容能力のある会場を確保するということ。

② 会場定員の50%を超える人数

⇒ 国の指針と府県別の指針が改訂されない限り不可とする。

(2) 実施に当たっての会場設営要件

席の配置は人対人の間隔は最低1m以上を確保する必要があること並びに人と人が対面する場合には2m以上確保する必要があります。

参加者にはマスク着用を義務付け、定期的に換気を行い、会場の出入り口には消毒液を設置し、会場への入退室時に手指の消毒を行う運用とします。

可能な限り、入室時の検温を実施することが奨励されます。

2. 今後の地区主催行事

(1) 地区大会（2020-21年度）

来年4月開催であり、現段階としては予定通り開催する方針です。但し、感染状況によっては、規模を縮小することも検討しております。また、来年1月1日時点においてもまだ、地区内（4府県）で1名でも患者がいる場合には中止することとします。

(2) 地区主催行事（委員会中心）

(ア) 委員会ごとの各種セミナー等

(イ) 合同地区委員会等

(ウ) クラブの委員長を含む各委員会の担当者会議等

(エ) ローターアクト・インターアクトの独自のイベント・研修等

上記いずれも開催時期と開催方法は本来各委員会がお決めになることではありますが、前記

1. 地区内行事の開催要件に準じてご判断をお願いします。

(3) 地区とクラブの共同開催

(ア) インターシティミーティング (2020-21年度IM)

開催時期と開催方法は各組のホストクラブがお決めになることでありますが、前記1. 地区内行事の開催要件に準じてご判断をお願いします。

なお、各ホストクラブ様にはIMの開催指針を既に發文しております。

(イ) 公式訪問 (2020-21年度)

既に7月と8月のスケジュールの延期の調整を行い、9月から12月までの4カ月間で日程は調整済みではありますが、9月開催のクラブ様からはいくつか問い合わせを頂いております。

そのため、公式訪問の在り方については、全員集まって頂いた例会場をガバナーが訪問するという従来の方法に固執することなく、クラブの例会運営状況を踏まえつつ公式訪問の柔軟な在り方を模索してまいりたいと考えております。

すなわち、人数を限定しての公式訪問や会長・幹事等クラブ役員のみとの会合、さらにはWEBによる開催等です。

3. WEB会議 (ZOOM会議) による地区行事の開催

多くの地区行事が中止・延期となる中で、クラブにおかれましても多くの活動が制約を受け、例会運営もままならない状況が続いております。

そのような中であってこのままロータリー活動が休眠を続けるわけには参りません。

「自粛はすれども委縮はしない」の精神の下、未来に向かっての活動に取り組んでいく必要があります。

そのためには地区と委員会とクラブが一体的に情報を共有し、その方向性を考えていく必要があるとともに、地区運営が厳しい状況の中で徹頭徹尾、経費節減に努めていかなければなりません。そのためには、各種会合の会場費や会員の移動による交通費の支出を抑えることが不可欠となります。

従いまして、地区としては新年度から地区行事の WEB による開催を強く推奨するとともにそのツールとして ZOOM を活用して行くことを決定いたしました。

どうかこの取り組みの趣旨をご理解いただき、共に歩んでいただきたいと思います。

(1) ガバナー事務所会議室における WEB 会議設備の設置

ガバナー事務所会議室において、常時 WEB 会議のホストが立てられるように、WEB カメラ、マイク、スクリーン、専用端末 PC を整備し、ZOOM プロのアカウントを取得しました。

7月1日からは各委員会の開催をはじめ、研修会やセミナー、地区内 96 クラブの皆様との合同会議がいつでもできるようにしてまいります。

(2) 地区内 96 クラブ事務局における WEB 会議に向けての準備の取り組み

WEB 会議に不慣れな方にも地区の委員会や研修セミナーにご出席いただけるように、各クラブ事務局や有志の方の会社の会議室などに WEB 会議設備の設置をお願いしたいと思います(複数名集まる場合は感染予防にご留意願います)。各クラブにおかれましては、広報委員会からのアンケート調査にご協力いただくとともに WEB 会議の実施体制の構築にご協力をお願いします。(アンケート用紙 6 月 8 日お届け予定)

以上